

佐伯地区医師会

アレルギー性鼻炎

アレルギー性鼻炎は、原因となる抗原（ダニ、ハウスダスト、スギなど）に対する抗体がある量以上に増えている人の体の中に抗原が入ったとき、鼻の粘膜でアレルギー反応が起こり、くしゃみ、水様性の鼻水、鼻づまりを起こす病気です。

小児ではダニ、ハウスダストによる通年性のアレルギー性鼻炎が多いのですが、最近では4歳くらいでスギ花粉症を発症するお子さんもいます。アレルギー性鼻炎がある人は鼻粘膜が敏感なので、温度変化で起こる鼻炎や朝、晩の鼻炎も起こしやすくなります。治療はまず内服薬や点鼻薬を上手に使うことで症状を軽くすることができます。内服薬は効果や副作用（主に眠気、だるさ）に個人差があるため、長期に続けられるものを確認することが大切です。また、時々症状が増悪することがあ

り、そういう場合の対処法も考えておく必要があります。内服薬で十分な効果が得られない場合や根本治療を望まれる場合は、原因となる抗原のエキスを皮下注射する皮下免疫療法や、舌下に投与する舌下免疫療法をお勧めします。舌下免疫療法はもうすぐダニも発売予定ですが今のところスギ花粉しかなく、しかも12歳以上という制限があります。皮下免疫療法は注射ができれば小児でも可能です。内服薬や点鼻薬で鼻づまりが良くならない場合は、レーザー焼灼（しょうしゃく）などの手術的な方法もあります。鼻炎の症状で夜眠れない、勉強が手につかないなどお困りの方は専門医に御相談ください。

ひらた耳鼻咽喉科アレルギー科
院長 平田 思